

甲 生 環 第 5 2 5 号  
令和 6 年（2024 年）12 月 5 日

滋賀県知事 三日月 大造 様

甲賀市長 岩永 裕貴

近江バラス株式会社安定型産業廃棄物最終処分場建設事業に係る  
計画段階環境配慮書に対する意見について（回答）

令和 6 年 9 月 2 日付け滋環政第 7 0 1 号により依頼のありましたこのことについては、下記のとおりです。

記

1. 個別事項

（騒音・振動）

- ・ 計画段階配慮事項の選定として、「尾根を隔てている」、「建設地から 500 m 以上離れている」ことから非選定にされているが、北土山及び南土山の市街地や大澤集落があることから、重大な影響が全く生じないとは言えません。地域住民の不安を無くすためにも、重機など（大型運搬車両含む）の稼働に伴って発生する排ガス、粉じん、騒音及び振動を、配慮項目として追加するよう再検討してください。
- ・ 建設時から毎日、大型運搬車両（ダンプ等）が大澤集落内等を往来することになりますが、「車両台数は限定的であるため重大な影響は生じない」という理由により配慮事項として非選定されています。しかし、大型運搬車両の経路は住民の生活圏内を通行する生活道路でもあり、通学路でもあることから配慮項目として追加するよう再検討し、環境保全措置の徹底を図り、大型運搬車両の走行に伴う影響を可能な限り低減するよう努めてください。
- ・ 施設供用後の対応として、騒音・振動に係る環境配慮については、埋立作業機械の稼働による周辺地域への騒音・振動の影響を低減するため、騒音規制法・振動規制法に定めている規制基準等を順守してください。また、埋立作業機械の稼働音や振動が敷地外へ漏れるのを防ぐため、無用なアイドリング音の発生と複数機械類の同時稼働を極力抑制するように努めてください。併せて、低騒音・低振動型機械の採用に努めてください。

（悪臭）

- ・ 「悪臭を発生させるような工事は想定していない」、「性状の安定した建設副産物を想定」であることから悪臭に係る重大な影響は生じないため、計画段階配慮事項を非選定とされていますが、想定外のことが発生することも考えられるため、悪臭を配慮項目として追加することを再検討してください。

( 伝統文化の状況 )

- ・ 次の文言について修正をお願いします。  
「無形文化財」 「無形民俗文化財」  
「県選択無形文化財」 「県選択無形民俗文化財」

( 農業 )

- ・ 事業実施想定区域内に田畑は存在しませんが、調査区域内において水稲、野菜等の作物に影響が出た場合の対応策を示してください。
- ・ 河川、ため池、地下水等の農業用水に悪影響のない計画としてください。
- ・ 計画地周辺の河川、ため池、地下水への影響調査の範囲、頻度を示してください。農作物への影響調査の有無、また、影響が確認された場合の対応を示してください。

( 下水道の整備状況 )

- ・ 農業集落排水処理施設は大沢地区と唐戸川地区の2か所となっておりますが、調査区域には集落排水施設区域として岩室地区も含まれているため、下水道の整備状況としては、岩室地区農業集落家庭排水処理施設も表記してください。

( 都市計画法等 )

- ・ 法令、条例等の規定により環境の保全を目的として指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容として、都市計画法第29条第1項および第2項の規定を明記し、許可を要する行為かどうかを記載してください。
- ・ 「甲賀市みんなのまちを守り育てる条例」の規定を明記し、対象となる行為かどうかを記載してください。

( その他 )

- ・ 計画段階配慮事項の項目及び手法の選定等に係る事項に新たな事項が生じた場合は、必要に応じて、項目及び手法を見直し、追加調査を実施してください。
- ・ 調査、予測及び評価を行うにあたっては、既存の文献、類似事項等を参考にした上で、環境影響について可能な限り定量的な把握に努めるとともに、知見が不十分で予測、評価に不確実性が伴う場合には、事後調査を計画してください。
- ・ 環境保全措置の検討にあたっては、環境影響の回避・低減を優先的に検討し、代償措置を優先的に検討することがないようにしてください。また、その検討の経緯についても明らかにしてください。
- ・ 当該産業廃棄物処分場の整備計画を受け、地域住民からは住環境の汚染や悪化に加えて、大型運搬車両の生活道路利用に伴う交通量増加や交通安全面での不安がかなり大きくなっています。さらに、土山町以外の野洲川下流域住民からも水道水源への悪影響等への懸念が市役所にも数多く寄せられていますので、許認可に際しては地域住民の理解を得られる形で進められるよう強くお願いします。

- ・ 流出するとマイクロプラスチックとなりうる廃プラスチックやアスベスト含有物は除外し、より安定しているコンクリートがらや瓦だけを受け入れするなど市民の健康被害の影響が出ないように配慮してください。また、公共水域へのPFAS流出に対する心配の声が市民より寄せられていますので、定期的なPFAS検査の実施を検討してください。